

# 全養協通信

平成26年2月7日 発行

全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

〒100-8980 TEL03-3581-6503 FAX03-3581-6509

<http://www.zenyokyo.gr.jp/>

「全養協通信」は、全養協事務局から全国の児童養護施設にお送りしています

## 《今号のトピックス(見出し一覧)》

### 1. 日本テレビ系ドラマ「明日、ママがいない」への対応

## 1. 日本テレビ系ドラマ「明日、ママがいない」への対応

### (1) 日テレからの回答を受け、全国里親会、慈恵病院と合同記者会見を開催【2月5日】

日本テレビ系列で1月15日より、ドラマ「明日、ママがいない」が放映されています。「全養協通信No.251」でご報告したとおり、本会では、2度にわたり文書にてドラマの改善要望を行ってまいりました。2月4日に、日本テレビの佐野制作局長、中井コンプライアンス推進室次長から、下記文書による回答と説明を受けました。

本会はこの文書で、①施設の子どもたちが傷ついたことに対して衷心よりお詫び申し上げる、②全養協から事前に、表現上の留意点などを慎重に確認しておく必要があったと認識している、③全養協からの指摘も踏まえ、これまで以上に子どもたちに配慮する、④指摘については重く受け止め、番組制作に活かしている、⑤誤解を生まないよう、細心の注意を払っていく、としていることをふまえ、今後一定の改善が図られるものと受け止め、ドラマの展開を注視していくこととしました。

なお、本会からは、ドラマによって傷ついた子どもたちに公共の場で謝罪が必要である、今後、社会的養護の正しい理解をすすめるよう放送機関としての役割を果たしてほしい旨を伝えました。

2月5日、厚生労働記者会において、ドラマ「明日、ママがいない」に抗議を行っている全国里親会、慈恵病院と合同の場でそれぞれの意見、対応などを表明する記者会見を行いました。

記者会見では、こうした経緯に加えて、本会として、放送の影響を受け傷ついた子どもたちの心理的ケア等について最新の注意を払い対応するよう、全国の児童養護施設に徹底することを伝えました。さらに、施設現場で子どもたちへの権利侵害が起きていることについて、深刻かつ重大に受け止めており、本会内に特別委員会を設け根絶をめざし対応していることを表明しました。

児童養護施設の皆様におかれましては、ドラマの影響に起因する児童への心理的ケア等につきましては、これまでも各施設で十分な対応をいただいていることかと存じますが、施設内での対応が困難である等、お困りの点等ございましたら、全養協事務局までご相談いただけますようお願いいたします。

また、1月17日(金)以降、本会協議員より、入所児童への本ドラマによる影響の状況報告をいただいております。貴施設において、ドラマの影響がございましたら、協議員を通じてお知らせくださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 2 月 4 日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

全国児童養護施設協議会

会長 藤野 興 一 様

日本テレビ放送網株式会社

執行役員 制作局長 佐野讓願

謹啓 立春の候、貴協議会におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

さて、弊社番組「明日、ママがいない」（以下、「本ドラマ」といいます）につきまして、貴協議会より弊社に対する平成 26 年 1 月 29 日付「児童養護施設で生活する子どもを、これ以上傷つけないでいただきたい」と題する書状（以下、「1 月 29 日付書状」といいます）を拝受いたしました。

本ドラマは、子どもたちが厳しい境遇に立ち向かいながら、前向きに愛情をつかむ姿を描くことをテーマに企画されたもので、そのことは、本ドラマを見続けていただければ必ずやご理解いただけるものと考えております。また制作にあたっては、児童養護施設の施設長を経験された専門家に監修をお願いするなどの配慮をいたしておりました。

しかしながら、貴協議会が 1 月 29 日付書状等においてご指摘されるように、本ドラマを視聴した施設の子どもたちが傷ついたり、同書状別紙の実態アンケートに記載されたような事実が存在するのであるならば、もとより本ドラマの意図するところではありませんが、そのような結果について重く受けとめるとともに、衷心より子どもたちにお詫び申し上げます。

さらに、貴協議会から事前に児童養護施設を取り巻く環境などの実情を詳細に伺い、表現上留意すべき点などをより慎重に確認しておく必要があったと認識しております。

本ドラマにおきましては、貴協議会からのご指摘も踏まえ、これまで以上に子どもたちに配慮してまいります。具体的かつ詳細な点につきましては、ドラマという性質上、ご説明することはご容赦頂きたく存じます。ご指摘頂いた点については重く受け止め、すでに主体的に番組制作に活かしております。

元来、弊社の本ドラマ制作のテーマは最初に述べさせていただいたとおりであります。貴協議会のご活動と、方向性において異なるものではないと考えております。ストーリーは、当初の構想に従って展開致します。また、細部において誤解を生むようなことがないよう、細心の注意を払ってまいり所存ですので、改めてこのドラマを最後までご覧になって頂きたく存じます。

弊社は報道番組などさまざまな番組を通じて、児童養護施設の問題に真摯に向き合い取り組みしております。今後とも貴協議会の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上のとおりですので、諸事情ご賢察の上、ご理解を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、今後の貴協議会の益々のご発展を祈念いたしております。

謹白